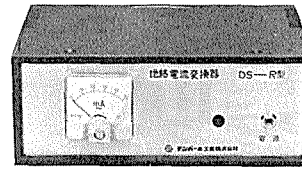


DS-P



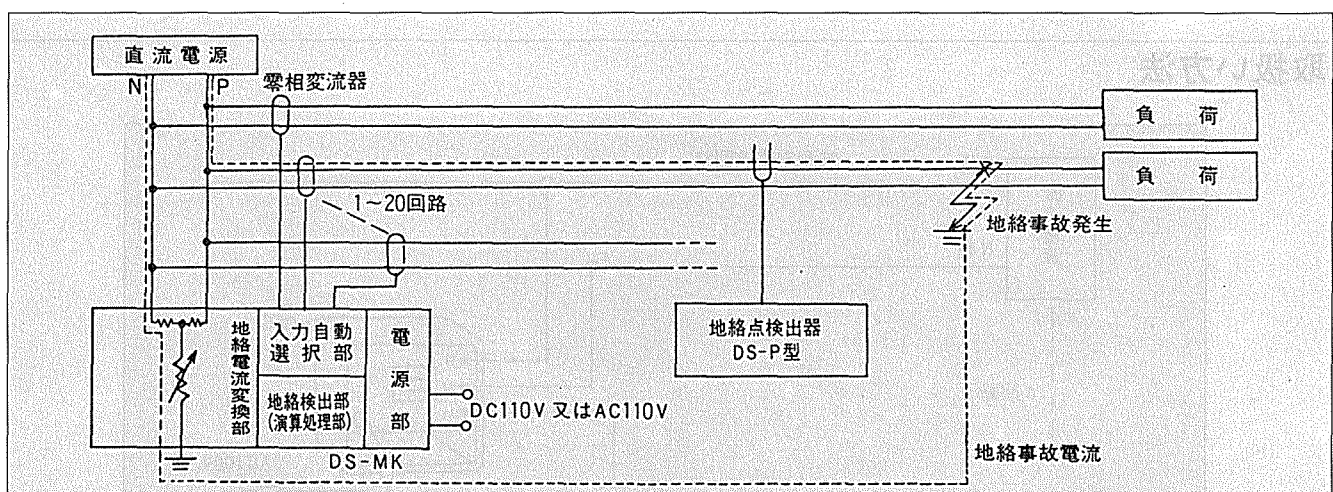
DS-R

地絡電流変換器・地絡点検出器

型 式			標準価格 (円)	備 考	外 形 寸法図 No.
DS-R			195,500	地絡電流を脈流に変換する地絡電流変換器で、DS-Pとペアで使用します。	207
DS-P			195,500	DS-MK、DS-MNで検出した回路の地絡点を探索する地絡点検出器です。	208

動作概要(DS-MK)

図のように地絡事故が発生すると、直流電路地絡検出装置が次の順序でどの電路(分岐回路)に地絡事故が生じているかを表示します。



直流電路地絡検出装置

- ①回路に地絡が発生すると直流回路に設置されている直流地絡継電器64Dで地絡事故を検出し、動作信号を直流電路地絡検出装置(DS-MK)に送ります。
- ②直流電路地絡検出装置(DS-MK)が始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。DS-MKの地絡電流変換部で地絡事故電流を11Hzの正弦波的脈流に変換します。
- ③直流電路地絡検出装置(DS-MK)の入力自動選択部が各回路を1秒毎に測定しながら、変流器からの信号を無接点スイッチで切り替えていきます。
- ④無接点スイッチで選択されて来た信号は、地絡検出部で増幅、フィルタし、電路の容量性のものか、地絡事故による抵抗性のものかを判別するように地絡電流変換部の信号によって同期整流します。信号が一定レベルを越えると地絡回路の発光ダイオードを点灯し保持します。記録の場合は事故発生日時刻、地絡抵抗値や極性を印字した後、全回路番号と地絡レベルを印字します。
- ⑤次に別売の携帯用の地絡点検出器(DS-P型)を使用しますと、地絡事故電路のどこに地絡点があるかが探索できます。
- ⑥地絡事故が復旧すると、自動的に初期状態に復帰します。このとき地絡回路表示の発光ダイオードは点滅状態として残り手動でリセットスイッチを押すと消えます。